

新型コロナウイルス感染拡大時における校長からのメッセージ

旭丘高校の生徒の皆さんへ

現在、日本のみならず、世界中で、新型コロナウイルスの感染拡大により、日常の安全・安心な生活が大きく脅かされています。

愛知県においても、本日から19日まで臨時休業とすることを決定しました。本校においても、臨時休業をせざるを得ない現状をしっかりと認識し、一致団結して感染防止に取り組んでいきたいと思ひます。

新型コロナウイルスについては、当初、若者は感染しにくい、重篤化しにくいという情報がありましたが、若者や年齢の低い子供も大変危険であることがわかってきました。

全国の感染者の約半数が、30代、20代以下の若者です。皆さんも十分に警戒を強め、感染防止に全力を尽くしてください。

感染防止については、三密を避ける、と言われるように、密閉空間、密集、密接を避けることが大切です。人と話す場合は、マスクをした上で、2.0m以上空けましょう。そして何よりも、ウイルスを取り込まないために、手洗いとうがいに心掛け、消毒・手洗いしていない手で、目や口、鼻を触らないことです。

全ての生徒が協力して、一人も感染者が出ないよう、努めましょう。生徒の中には、心臓や肺に疾患を抱える人、家族に高齢者や既往症をもった人がいるなど、それぞれに心配な状況を抱える人がいることをしっかりと認識し、自分のために、人のために、感染予防に全力を尽くしてください。

一人も感染することなく、この難局を乗り越えたいと思ひます。皆さんの家族にも、最大限の協力をいただき、家庭でもしっかりとした感染防止の対策を取ってもらうよう、皆さんからお願いしてください。自分一人では、このウイルスの感染は防げません。全ての人、お互いのために努める時です。皆さんに、強く願ひします。

また、皆さんには、それだけでなく、旭生として、この国難ともいえる事態に、何をすればよいのか、将来日本のリーダーとなることを期待する皆さんに、是非考えてほしいと思ひます。そして、この経験を、近い将来、必ず生かして、世の中を変えていって欲しいと思ひます。

今、皆さんは様々な疑問をもっていることと思ひます。何故、PCR検査が沢山できないのか、何故病床を早期に確保できないのか、何故人工心肺装置を増産できないのか、何故人工心肺装置を使える医師を増やすことができないのか・・・様々な疑問があることと思ひます。それぞれが感じる疑問には、実現を阻む理由と状況があり、簡単に解決ができるわけではありませんが、より良い方向に進む道があるはずです。

現在の状況は、理想の状態からはほど遠いと感じています。これを解決するには、この問題に関心を寄せ、解決に向け、実際に取り組んでみないとその仕組みは理解できません。

感染状況において、現在の日本は、勤勉な国民性により、オーバーシュートにはまだ至っていないとの見解がありますが、国及び自治体の対応には課題が山積しています。

この難局の中で、何を考え、何を得るのか。厳しい局面であるからこそ、現在の日本の抱える問題点の本質が見えてくるはずです。間違っていることを指摘せず、放置し、もの言わぬことは、大きな誤りです。正しいことを主張し、より良いものに導くことは、自分のためではなく、広く多くの人のために必要なことです。

是非旭生には、現在の社会の抱えるひずみと問題点を理解し、^{ことわり}理を理解し、近い将来、様々な分野でその課題を克服して欲しい、と願っています。

そのために、この状況から多くを学び、議論しましょう。経験をしましょう。真剣にこの現状と向き合い、解決策を探って欲しいのです。

今日は私から、一人も感染しないように、最大限の感染防止対策に取り組んでほしいこと、旭生が日本を救う人材となるためにも、困難に直面している現状で、何を考え、どう行動すべきかを考えてほしい、ということを訴えさせていただきました。

大変な時局を迎えています。必ず、終息に向かいます。すべての人が互いのことを思いやり、自らのことを大切に、この難局を乗り越えていきましょう。

そして、日常の学校生活が、一日も早く戻ることを心から願っています。

令和2年4月7日

愛知県立旭丘高等学校長

杉山 賢純